



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「さんむエコノミックガーデニング」に対するアドバイス

山本尚史 (やまもとたかし)

拓殖大学政経学部 教授



○ 登録者情報
所在地

東京都文京区

略歴

1988年に筑波大学第三学群国際関係学類を卒業後、三井銀行、海外コンサルティング企業協会、世界銀行、海外経済協力基金、ハワイ大学、北東アジア経済フォーラム、国際教養大学を経て、2011年より拓殖大学政経学部に勤務。

1997年に米国プリンストン大学にて公共政策学修士を、2004年にハワイ大学にて経済学博士を取得。

2012年より総務省地域力創造アドバイザー、2013年より東温市中小零細企業振興円卓会議スーパーアドバイザー、2016年より東村山市創生総合戦略推進協議会会長、2016年より山武市エコミックガーデニング推進協議会アドバイザー、2017年より地域活性学会理事。

著書・論文等

“Analysis of Japanese shrinking cities and policies to tackle this problem (the case of Sammu city and its economic gardening project)”. R-Economy 5(3), pp. 123-136. (2019年)

「地域の持続的発展可能性を高める経済活性化手法に関する比較研究」『拓殖大学論集 政治・経済・法律研究』第16巻第2号、131-150ページ。(2014年)

『地域経済を救うエコミックガーデニング』(2010年)

○「さんむエコミックガーデニング」に対するアドバイス

取組の内容

「エコミックガーデニング」とは、1980年代後半にアメリカのコロラド州リトルトン市で初めて実施され、試行錯誤を繰り返しながら15年間で雇用2倍、税収3倍を実現したことで注目を浴びた地域経済活性化施策である。この手法では、企業誘致だけに頼るのではなく、地域の中小企業が成長することによる地域経済活性化を目指すこととしており、そのために行政や商工会議所、銀行などが連携しながら地元の中小企業が活動しやすく成長できるようなビジネス環境をつくるための施策を展開する。

千葉県山武市では、商工業ともに商店数・事業所数、従業者数、商品販売額・製造品出荷額が減少しており、このような傾向は、将来的な人口減少や高齢化の進展により今後も進むと見られる。持続可能な社会をつくるためには、中小企業の成長による雇用の創出や税収の増加が必要不可欠と考え、山武市および民間経済団体、エコミックガーデニングに関心がある方をもって、2016年4月に、「さんむエコミックガーデニング推進協議会」が設立され、企業支援活動や地域づくり活動が始まった。

私は、2014年から山武市の地域経済活性化に関わっていたところ、2016年に「さんむエコミックガーデニング推進協議会」が設立されて以降は、同協議会のアドバイザーとして協力している。



さんむエコミックガーデニング推進協議会の全体会議で助言



シンポジウムのモデレーター

実績

2015年度に山武市で「市内中小企業・小規模事業者実態調査」が実施された際に、質問項目の策定や集計結果の分析に関する助言を提供したことにより、山武市が地元企業の実態を理解し企業支援政策を策定する一助となった。また、2018年に山武市で中小企業の振興を図る条例の制定が準備されていた際に、「さんむエコノミックガーデニング推進協議会」の会員に対して、条例の意義、趣旨、望ましい内容などについて検討する勉強会で情報提供と助言をおこなった。協議会から市に対して条例の制定に関する提案書が提出された後に、条例は市議会で審議、可決され、施行された。

山武市の企業のうち、「さんむエコノミックガーデニング推進協議会」の会員企業の経営状態は良好である。2015年度のような実態調査を行っていないので正確な数値は不明であるが、コロナ禍以前の時期において、少なくとも経営の悪化はなかった。こうした事情を反映して、「さんむエコノミックガーデニング推進協議会」は、設立当初は会員が20名程度であったが、現在は70名を超えている。

工夫した点や苦労した点

地方自治体と民間企業とでは、活動の動機付け、お金の感覚、スピード感などにおいて、心理的なギャップが生まれがちである。そして、そのギャップのために、双方が善意であってもコミュニケーションのミスや誤解が生じやすい。取組に当たっては、あたかも「官のことば」と「民のことば」を橋渡しする通訳として、双方の意図が相手に届くように工夫した。

ひとことPR

地域経済活性化は、イベントを実施して実現するものでもなければ、何らかの形を整えることで実現するものでもなくて、地域内の人々が置かれた環境に対して働きかけを続けることによって実現するものであると考えております。そのような働きかけの一助になる活動を実施したいと思います。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

Linkedinにある本人のページ(英文)	https://www.linkedin.com/in/yamamotoeg/
さんむエコノミックガーデニング推進協議会	https://eg-sammu.jp/
EGおおさか	http://www.pref.osaka.lg.jp/mono/eg-osaka/index.html

連絡先

メールアドレス	ytakashi [アットマーク] ner.takushoku-u.ac.jp		
---------	---	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。